

動詞重畳型に関する通時的研究（九）

——《兒女英雄傳》を中心に——

大 島 吉 郎

A Diachronic Study of the V—V Form (IX)

Yoshiro OSHIMA

摘 要: 本文主要以《兒女英雄傳》里動詞重疊句作為考察對象。《兒女英雄傳》出版於清朝光緒 4 年 (1868), 是一個 19 世紀中葉北方口語的重要語料。本文就《兒女英雄傳》里動詞重疊句得出以下 6 個特點:

- (1) 單音動詞“VVO”式居多。
- (2) 單音動詞“V 了 V”式用例數量在本文過去調查的範圍內居多。
- (3) 單音動詞“V 了 VO”式用例數量在本文過去調查的範圍內居多。
- (4) 單音動詞“VO—V”式還沒有消失。
- (5) 雙音動詞“VV”式、“V 了 V”式、“VVO”式等用例共 126 條, 在本文過去調查的範圍內居多。
- (6) 雙音動詞重疊句中沒出現“V—V”式, 這個現象和現代漢語一致的。

关键词: 《兒女英雄傳》; 動詞重疊; 歷史演變

0 はじめに

《兒女英雄傳》は「縁起首回」と合わせて全 41 回、清朝光緒 4 年 (1868) に聚珍堂より木活字本が刊行されており、これが初刊本である。満洲族である著者文康の詳しい生卒年は分かっていない。

物語は講釈師の語りを中心に構成され、章回小説の体裁を取りながらも、実際には講釈師の講談を聞くかの如く物語の展開を追う、極めて口語的色彩の強い文学作品である。舞台は北京、主要な登場人物も正黄旗漢軍の一家を中心とする北方出身者。因って、この小説の言語は十九世紀北方の口語資料として高い価値を有しており、現代漢語へとつながる通時的記述を行う上で重要な意味を持つ。

《兒女英雄傳》の動詞重畳型に関する研究には既に二篇の論文が発表されている。陳昌来 2000 と藤田益子 2002 であるが、小稿がこれまで行ってきたデータの蓄積とは異なる記述内容であるため、通時的観点において十分なデータをこの二篇から得られないうらみがある。小稿では今後の研究に基礎データを提供するための記述を中心に、幾つの特徴を指摘しようとするものである。

テキストには松岡校注 1983 年人民文学出版社刊《兒女英雄傳》(上・下)を用いる。このテキストは光緒 6 年 (1880) 北京聚珍堂活字本《還讀我室主人評兒女英雄傳》を底本とし、光緒 4 年聚珍堂初

印活字本《兒女英雄傳》を主な校本とし、北京図書館蔵旧鈔三十九回残本《兒女英雄傳》を併せて校訂に用いており、信頼性は高いものと考えられる。

I 単音節動詞

単音節動詞の重畳型に見られる特徴は、以下の四点にまとめることができる。

- (1) 単音節動詞重畳型の用例全体で「VVO」型の用例が最も多い。
- (2) 「V了V」型の用例がこれまでの資料の中で最も多く見られる。
- (3) 「V了VO」型の用例がこれまでの資料の中で最も多く見られる。
- (4) 「VO—V」型が「V—VO」型より多く用いられている。

1.1 VV

全 195 例、動詞の種類は 45 (1)。

—— 拨、拜、帮、擦、尝、冲、掸、点、逛、喝、换、混、见、嚼、接、聚、看、了、拍、碰、瞧、求、劝、纫、上、说、诉、算、谈、听、望、问、洗、想、笑、歇、叙、摇、用、匀、找、抓、转、走、坐
会話文での使用が 154 例を占める。用いられる語は口語語彙が多数となるが、その中でも用例が多く見られるのが“看”、“瞧”、“想”である。括弧内は会話文における用例数。

看：28 例 (23)

瞧：29 例 (28)

想：29 例 (24)

“看”と“瞧”の用法における差異は見られず、両者は「VV」型において並行しているといえることができる。例えば、

太太说：“这离三月里也快了，拿出来看看，……。” (1,13)

十三妹道：“……你要不信，给你个凭据看看。” (8,128)

安公子还不曾答话，……，说：“……你瞧瞧，黄澄澄的，怪可爱人儿。……。” (9,135)

那和尚……，指着公子道：“……，你先抵回死我瞧瞧！我要看看你这心有几个窟窿儿！……。” (5,84)

秃子说：“别管那些，咱们踹开门进去瞧瞧。” (6,94)

那个讨厌的女人……说道：“……你瞧瞧，人家脊梁上可掖着把大刀呢！” (7,109)

太太说：“……老爷白想想。” (2,25)

那师傅道：“……，请想想，可是‘据实’两个字行得去的？” (2,31)

「VV」型として用いられるのは、口語語彙の中でもその多くが常用語彙とみなすことができるものである。例えば、

那穿红的女子……，向他道：“……，你把你是怎样一桩事情，也说来我听听！” (7,113)

公子道：“你就叫你媳妇儿帮帮不好吗， …。” (37,745)

安老爷道：“叫人端一碗你尝尝。” (38,788)

…，戴勤家的笑道：“姑娘，那茶凉了，等换换罢。” (22,397)

…，便笑嘻嘻的望着安老爷说道：“…，等我给你老捶捶哦！” (38,792)

安公子道：“…，这一出场，大家必得聚聚才好。” (35,693)

安公子此时才遇着些小的一个钉子碰碰，此后正有诺大的一把枣儿嚼嚼，你叫他怎得不热？(40,848)

便央及花铃儿说：“好孩子，你给我纫纫。…” (24,428)

邓九公道：“那里，等我算算。” (17,292)

大家围着都让他先坐下歇歇。(20,340)

华忠忙答道：“…。既这样，就请老爷、大爷赏他家个脸，过去坐坐。” (14,228)

睡不着，一会给他抓抓，又给他拍拍，那么大个儿了，有时候还揽在怀里罢卜着睡， …。(24,425)

一时大礼行罢，把个张老喜欢的无可不可，说：“等我沏壶热茶来，大家喝喝。” (9,156)

他道：“…，明几个趁早慢慢儿的找找，也省得临期忙。” (40,859)

一时，柳条儿端了洗手水来，慌慌张张的问张姑娘道：“…，叫奴才合奶奶讨点儿甚么药上上。” (31,589)

…，转觉得满脸周身的不得劲儿，在那里满地转转。(9,156)

华忠…因问公子道：“我的爷！你怎么直到如今还在这里转转？…” (14,224)

拜拜 (15,243)(22,396)

冲冲 (38,788)

逛逛 (40,838)(40,863)

混混 (37,751)

见见 (7,110)(14,220)(15,241)(16,266)(21,358)

嚼嚼 (37,755)

接接 (35,693)(39,816)

看看 (3,39)(3,40)(18,308)(19,321)(19,321)(19,333)(20,354)(20,354)(22,382)(24,437)

(26,478)(28,535)(29,542)(31,587)(31,601)(32,619)(33,659)(34,680)(35,713)

(37,755)(38,787)(38,796)(39,807)(39,809)

了了 (27,502)

瞧瞧 (6,93)(9,141)(12,185)(15,242)(15,252)(17,283)(17,285)(22,393)(24,435)(25,463)

(26,479)(27,507)(36,720)(36,730)(37,763)(37,766)(38,775)(38,792)(38,793)

(38,793)(39,818)(40,838)(40,851)(40,860)(40,884)(40,885)

求求 (36,722)

劝劝 (19,320)

说说 (8,131)(9,148)(23,420)(29,551)(29,564)(32,624)(33,643)(40,885)
 算算 (29,556)(40,881)
 谈谈 (12,190)(31,591)(34,669)(35,705)
 听听 (8,131)(9,134)(15,237)(15,240)(15,246)(16,275)(17,285)(19,321)(22,384)(23,419)
 (23,420)(27,499)(28,527)(29,554)(31,596)(33,651)(35,694)(36,721)(37,763) >
 望望 (4,63)(22,383)(36,729)
 问问 (3,40)(14,222)(15,254)(26,479)(29,553)(29,564)(37,752)
 洗洗 (9,144)
 想想 (3,41)(3,41)(3,41)(3,46)(5,72)(5,76)(7,109)(7,112) > (9,134)(9,145)(14,232)
 (18,300)(19,321)(19,326)(19,330)(20,352)(25,459)(26,468)(26,474)(30,581)
 (32,626)(33,649)(40,854)(40,867)(40,868)(40,874)
 笑笑 (28,526)
 歇歇 (1,17)(1,19)(11,166)(11,170)(32,611)(32,629)(34,680)
 叙叙 (22,382)
 摇摇 (26,490)
 用用 (8,123)(11,174)
 走走 (1,11)(2,29)(2,34)(3,48)(26,477)(36,720)(38,790)
 坐坐 (38,796)

“把”字句とともに用いられる例も見られる。例えば、
 …，舅太太又说：“吃完了，再把脸擦擦，就凉快了。”(37,743)
 老爷…，便叫长姐儿道：“你过来，把师老爷的烟点点。”(37,756)
 …，不禁乐的掀须大叫道：“…，把他那刻的诗集要来看看，…”。(35,703)
 他便道：“…。大姐姐，你过来得正好，等我把我的委屈诉诉你听听。”(26,485)
 …，又叫丫头：“给你新大奶奶湿个手巾来，把粉匀匀。”(27,496)

否定の文脈で用いられる例は次の通り。例えば、
 恰好这个当儿公子一觉睡醒，…，模里模糊的叫了声：“花铃儿，你看灯都待好灭了，也不起来拔拔。”(34,684)
 …，暗道：“…。二位大奶奶也不劝劝。…”。(34,672)
 何不想想，那房师的力量止能尽到这里，…。(35,702)

わずか 1 例ではあるが結果補語を伴う例も見られる。例えば、

舅太太听了半日，问着他姊妹道：“这个话，你们姐儿俩竟会明白了？难道这个甚么‘左传’‘右传’的，你们也会转转清楚了吗？”(33,653)

1.2 V V 儿

全 36 例、動詞の種類は 8。

——等、躲、圈、说、躺、歇、站、坐

用例の最も多いのが“歇”(24 例)である。また用例は 1 例を除き会話文中に用いられている。“看”、“瞧”の例は現れていない。例えば、

那瘦子一见，说：“…。你等等儿，咱们爷儿俩较量较量！…”(6,95)

张金凤便向他们道：“你们先躲躲儿，让我们说话。”(26,489)

程师爷一面看，一面用脑袋圈圈儿，便道：…。(34,686)

只见他呆着个脸儿问着程相公道：“…，也只就他口中的话说说儿也罢了。…”(39,809)

他便合别的丫头说道：“我怪不舒服的，家里躺躺儿去。”(40,864)

华忠说：“小爷，你只别着急，等我歇歇儿告诉你。”(3,49)

安老爷道：“…。我说：‘我出去站站儿罢。’…”(32,613)

褚娘子道：“我们大哥大嫂子要请我去坐坐儿，…”(29, 557)

等等儿 (38,774)(40,842)

歇歇儿 (4,57)(4,67)(7,104)(10,160)(14,222)(21,361)(21,376)(22,393)(22,393)(22,393)
(27,496)(27,502)(27,505)(29,559)(29,562)(29,563)(31,587)(34,688)(35,695)
(38,796)(39,816)(40,863)(40,863)

坐坐儿 (29,564)(31,590)(33,638)

動詞のバリエーションを見ると、「VV」型と必ずしも重複するものではないことがわかる。《北京话儿化词典》には“等等儿、躲躲儿、说说儿、歇歇儿、站站儿、坐坐儿”などの項目を収録する。

1.3 V 了 V

全 120 例、動詞の種類は 20。

——擦、抽、抖、嚼、看、考、晾、摸、拍、瞧、纫、算、提、听、望、问、想、笑、歇、走

地の文での使用が一般的であるが、会話文中における用例も若干見られる。例えば、

便听那邓九公向安老爷道：“…。我看了看，我不象是这里头的虫儿，…”(15,248)

姑娘…，进门就说道：“方才看了看，东首这块地，…”(23,411)

舅太太道：“…。他看了看，土是支不起来，…”(33,653)

…，张太太这里嚷起来了，说：“…，你纫了纫，…” (24,428)

张姑娘叹了一口气：“…。我听了听这还有些正经，…” (29,555)

太太道：“…。我方才在外头问了问，原来从这里有条小路走着近便，…” (14,216)

何小姐道：“…。及至我过来，问了问，自从公公回京时，…” (30,577)

“看”と“瞧”とでは「V了V」型において“看”が選択されており、「VV」型とは大きく異なる状況を示している。

“看”：48

“瞧”：4

随即向后退了一步，把脸上的唾沫星子擦了擦，笑着叹了一口气，…。 (7,109)

谁想那女子放下石头，把手上身上的土拍了拍，抖了抖，一回身，…。 (4,68)

一时无聊之极思，拿起方才安的那根小烟袋儿来抽了抽，其通非常；…。 (40,871)

…，还把那块姜捞起来，搁在嘴里嚼了嚼，…。 (37,754)

老爷因他这次算那地册弄得极其精细，考了考，…。 (34,666)

及至晾了晾，端起来要喝，…。 (37,747)

…，也想要把那包袱提起来，提了提，没动问，便两只手拉到炕里边，…。 (6,93)

一时吃罢了饭，他出来走了走，便动手作那二三篇。 (34,665)

看了看 (4,55)(4,60)(4,62)(5,82)(6,99)(11,166)(9,139)(10,156)(11,67)(15,43)(16,267)
(18,300)(22,386)(23,407)(27,509)(29,546)(32,630)(33,638)(34,669)(34,680)
(34,681)(34,681)(34,683)(34,685)(35,698)(35,701)(35,705)(36,724)(37,750)
(37,754)(38,775)(38,775)(38,776)(38,778)(38,779)(38,800)(39,808)(39,812)
(39,812)(39,821)(39,822)(39,823)(39,836)(40,861)(40,884)

摸了摸 (3,48)(31,599)

瞧了瞧 (11,167)(37,766)(39,817)(40,854)

算了算 (33,655)(34,671)(38,783)(38,784)(38,799)

听了听 (11,167)(12,195)(22,390)(31,593)(31,595)(33,649)(35,701)(38,774)

望了望 (31,596)(34,680)

问了问 (11,179)(29,563)(35,712)(36,732)(38,800)(39,813)

想了想 (4,59)(4,63)(5,71)(5,81)(10,162)(11,166)(11,169)(11,175)(12,184)(14,217)
(18,314)(23,403)(23,413)(25,464)(32,618)(32,631)(34,685)(36,718)(37,753)
(38,794)(38,801)(39,815)(39,827)(40,841)(40,855)(40,862)(40,866)(40,892)

笑了笑 (5,71)(25,459)

1.4 VVO

全 219 例、動詞の種類は 69。

——拜、帮、卜、擦、瞅、出、呆、道、点、动、读、蹲、顿、顾、访、刮、观、逛、换、回、会、见、讲、解、救、开、看、拉、理、敛、晾、了、领、瞧、求、去、劝、扰、绕、认、润、烧、试、梳、熟、漱、拴、说、送、算、谈、探、疼、替、听、顽、望、问、洗、歇、谢、醒、用、沾、仗、找、照、整、作

《兒》における動詞重畳型の中で用例の最も多いのがこの「VVO」型であり、動詞の種類も「VV」型より多い。この傾向は《駱駝祥子》にも見られる(2)。

後述するように、《兒》に「VOV」型は 1 例しか見えず、賓語が人称代名詞“我”、“你”、“他”であっても大多数の例が「VVO」型をとる。「VO—V」型と異なり、二つ目の「V」に「量詞」としての性格が残っていないことが理由として考えられる。例えば、

褚大娘子…，便向邓九公道：“把咱们姨奶奶也叫出来见见，也好帮帮我。”(15,241)

因指张金凤说道：“…，帮帮我，又解了闷儿。”(24,427)

他才接着说道：“…，永远不知道顾顾我；…”。(7,113)

玉凤姑娘听如此说，便隔窗叫他道：“…，进来我再瞧瞧你。”(20,353)

说话间，恰好张姑娘装了烟来，舅太太便道：“外外姐姐，你来，我再细瞧瞧你。”(22,395)

安老爷便合太太说道：“…，我们自然要去帮帮他才是。”(29,557)

因莫世兄谈起安公子的品学丰采，两个人想要会会他，…。(35,690)

又听老爷往下说道：“…，来时太太总见见他，…”。(2,24)》

待要问问他，自己是天生的不愿意同僧道打交道，…。(38,799)

因合他女儿、女婿说道：“…，算替我谢谢他。”(32,624)

賓語が固有名詞、親族呼称の例。例えば、

邓九公道：“…，逛了泰山、东海、回来再到孔陵、圣庙去瞧瞧，就拜拜那个衍圣公，…”。(40,838)

张老心里貯訂了半日，说道：“…。再这话，也得问问安公子。”(9,146)

叩完了喜，并说：“请见见珍姑娘。”(40,878)

华忠拿了五两银子，…，嘱咐说：“你这一回去，先见见张爷，告诉明白张爷，…”。(3,46)

女子说：“…，怎的领我去见见我那女儿、老伴儿才好。”(7,104)

舅太太看了，才笑着说道：“…，帮帮姑太太罢。”(24,428)

两个人四只眼睛却不住的瞧瞧夫婿，又瞅瞅公婆。(37,762)

…，合褚大娘子道：“…，我也瞧瞧大爷去。”(15,248)

…，又合他姊妹说道：“…。瞧瞧人家，寻胎产金丹来，想必是褚大姑娘有了喜信儿了。”(38,779)

安太太便叫张姑娘：“好生劝劝你姐姐，不要招他再哭了。” (20,345)

老爷当下叫签押，说：“你去问问师爷，这数目怎么没填写？……” (2,30)

说着又道：“今日问问师傅，索性别作那文章了罢，……” (3,43)

华忠道：“……，他说：‘来谢谢老爷，见了老爷还有话说。’……” (38,802)

“看”と“瞧”は 32:16 で“看”が優位にある。例えば、

安老爷便合太太说道：“……，各处看看亲戚，道道乏去。” (29,557)

……，他借此要逛宝珠洞，登秘魔崖，瞻礼天下大师塔，还要看看红叶。(24,438)

又听老爷往下说道：“……，轻骑减从的先去看看路数。……” (2,23)

……，瞅瞅这个，看看那个，也不知听那句话好，问那句好。(19,326)

不必讲，那褚大娘子拉拉这个，看看那个，已经哭得泪人儿一般。(32,628)

姑娘看看这里，又帮帮那里，无事忙，觉得着日子倒好过。(24,428)

……，要访着安公子，看看他怎生一个人，怎样一个来历。(5,78)

那和尚……，指着公子道：“……。我要看看你这心有几个窟窿儿！……。” (5,84)

太太道：“你瞧瞧新大奶奶。” (22,392)

他又道：“……，你瞧瞧他那脸蛋子，有红似白儿的，不象那姑娘庙里的小娃娃子？” (15,245)

那姨奶奶……，说：“老爷子，你瞧瞧这个。” (15,248)

姑娘……，到：“你两个先抬起头来，我瞧瞧是谁。” (20,345)

……，那光景象是叫他瞧瞧外间儿有人没人；……。(40,854)

舅太太合安老爷、安太太说道：“……，瞧瞧你们在外头倒碰出多少不顺心的事来！……。” (22,394)

拜拜客 (35,691)

帮帮那里 (24,428)

卜卜公子究竟名列第几 (36,729)

擦擦脸 (38,800)

呆呆的瞅瞅这个 (20,345)

出出我自己心中那口不平之气 (20,347)

道道乏 (29,557)

点点头 (21,375)(24,437)(35,694)(38,773)(38,796)(38,797)(38,798)(40,862)(40,877)

动动劲儿 (27,503)

读读这 统碑文 (38,791)

蹲蹲腿儿 (40,879)

顿顿茶水 (3,38)

访访一路的名胜 (38,784)
刮刮浆子 (24,425)
观观场 (2,24)
逛逛财神殿、娘娘殿 (38,790)
换换衣裳 (31,591)
原想回回婆婆给他弄个服侍的人 (40,854)
见见他的娘子 (4,56)
见见天光 (7,110)
见见这个人 (7,110)
见见那大师傅 (7,115)
见见尊翁 (14,231)
见见你二叔 (15,239)
见见我们这位如嫂 (1,242)
见见姨奶奶 (15,244)
见见那个人 (17,284)
见见他 (17,284)(17,285)(37,749)
见见这位伯母安太太是怎样一个性情 (20,341)
见见他们 (21,371)(21,371)
见见亲家老爷、亲家太太 (22,393)
止见见亲家老爷 (22,393)
见见腻这位伯伯新公公 (27,499)
见见老翁 (28,522)
见见娘 (28,524)
见见俩媳妇儿 (34,674)
见见我们姑太太 (35,711)
见见自家的父母 (37,745)
见见奶奶 (38,774)
见见老爷 (38,802)
见见我 (40,849)
讲讲风气 (34,672)
讲讲他究竟又是怎的个志向 (39,833)
解解闷儿 (33,651)
救救作姐姐的 (26,490)

开开店门 (5,74)
看看你二人的心思 (9,134)
只是看看这四个人之中, 一个是…(9,137)
看看牲口 (10,158)
看看这弹弓 (11,174)
看看河工情形 (13,202)
看看谁输谁赢 (15,254)
看看那个 (20,345)(20,352)
看看这个 (20,352)
看看他落那座店 (21,368)
看看你那红定 (26,480)
看看火烛 (28,523)
看看门户 (28,523)
看看安家的上上下下 (29,541)
看看是何人的笔墨 (29,543)
看看是怎生一桩事 (31,587)
看看那人的福命可载得起载不起 (32,623)
看看…地步 (32,632)
要看看儿子头场的文章有望无望 (34,686)
要看看他究竟是怎样的个人 (36,716)
看看那封信 (38,779)
看看七十二司 (38,790)
看看我给你预备的这个住的地方 (39,822)
看看他这个心是何等的白日青天 (40,873)
拉拉袖子 (15,243)
拉拉手儿 (22,396)
理理头发 (20,342)
敛敛心思 (33,641)
晾晾衣裳 (4,67)
了了事 (6,94)(6,94)(6,94)(29,550)
了了我这生的事业 (25,452)
了了愿 (29,558)
领领教 (35,690)

瞧瞧希希罕儿 (28,524)
瞧瞧他几颗脑袋 (31,601)
白瞧瞧那烧香的人有多少 (38,786)
瞧瞧这个凤凰单展翅 (38,795)
求求老爷想个方法见着他 (14,231)
求求他 (22,385)(22,385)(22,385)
去去这一年的不吉祥 (24,433)
劝劝他 (7,114)
扰扰尘寰 (27,495)
绕绕笔头儿 (39,817)
认认这人是谁 (39,804)
润润喉咙 (9,134)
烧烧烙饼 (24,425)
试试你二人的胆量 (9,134)
梳梳辫子 (40,852)
梳梳头 (40,856)
熟熟笔路 (33,641)
漱漱口 (33,640)
拴拴牲口 (4,67)
说说话儿 (15,241)(20,348)(29,542)(29,562)
送送亲 (29,557)
算算他命里有儿子没有 (20,353)
谈谈这一年不见的闲话儿 (25,462)
谈谈文 (34,672)
谈谈自己这段心事 (40,841)
探探他的口气 (29,553)
疼疼那位姑娘 (20,342)
替他姐姐 (22,382)
替替姐姐看祠堂 (26,485)
白听听那个嗓子 (4,64)
听听这桩事的方向来历 (8,128)
听听他的姓名 (16,269)
且听听他端的说出个甚么人来 (18,301)

听听这位天大地大无大不大的英雄 (18,301)
听听安老夫妻见了何玉凤姑娘 (24,429)
听听…道理 (29,552)
(望望行云) 听听流水 (34,669)
听听好不好 (37,768)
听听他底下唱些甚么 (38,797)
听听他唱的是些甚么 (39,830)
听听他这段话是何等的风光霁月 (40,873)
听听这个信儿 (40,885)
顽顽杆子 (18,310)
望望行云 (听听流水) (34,669)
望望出场的同乡 (35,6939)
望望凤凰 (38,786)
望望黄老爷 (38,790)
问问他的来历 (7,113)
问问店家 (8,129)
问问你这事例倒底是可 (9,149)
问问路 (14,222)
问问姐姐 (25,462)
问问老哥哥 (32,612)
问问他两个如今可好让我吃杯酒 (38,783)
问问沿途的景物 (38,786)
问问他的来意 (39,804)
问问程师爷 (39,810)
问问他家今日到底是有件甚么事 (39,816)
到底问问那个小子，怎么就会出了这么个岔儿 (40,849)
详细问问那个小厮 (40,849)
详细问问他怎得便有这番调动 (40,887)
详细问问九公 (40,897)
洗洗脸 (33,640)
歇歇笔墨 (9,134)
歇歇腿儿 (10,156)
歇歇乏 (35,691)

醒醒气儿 (33,651)

摇摇头 (25,464)(36,730)(36,739)(37,747)(39,808)(40,839)

摇摇手儿 (38,773)

用用功 (33,639)

沾沾脸上的眼水 (20,342)

仗仗胆儿 (21,378)

找找我从前戴过的亮蓝顶儿 (40,847)

照照镜子 (27,507)

整整花儿 (15,243)

作作饭菜 (3,38)

1.5 V了VO

全 132 例。動詞の種類は 42。

——按、巴、摆、擦、低、点、定、拱、呵、换、剪、讲、看、理、撈、抹、抿、摸、拿、扭、拍、欠、瞧、揉、汕、伸、梳、漱、算、听、吐、挽、望、问、谢、熏、摇、匀、照、整、皱、坐

地の文での用例が多くを占める。動詞は幾つかに限られるが、賓語は「人」に関わる人称、呼称、固有名詞であってもこのタイプに現れる。例えば、

…，重复把安老爷上下一打量，看了看那邓九公、褚大娘子，…。(19,325)

只见他看了看众人，又看了看安公子夫妻，忽地失惊道：…。(20,345)

褚大娘子先忙着看了看孩子，便一面腾屋子，…。(21,376)

华嬷嬷看了看他姊妹两个，也象不肯就睡的样子，…。(31,590)

看了看这个儿子，还可以造就，…。(32,637)

看了看前面的人，一个个搜过去。(34,678)

安老夫妻此刻看了看儿子，是已经登第成名，…。(37,761)

我瞧了瞧那小子，倒也长得浑头浑脑的，…。(40,857)

说罢，望了望张太太，又叹了口气随缘儿媳妇，…。(22,389)

一进屋门，先摆手道：“…。我问了问他，他说姓尹，从淮安来，…” (17,284)

邓九公听了，哈哈大笑，说：“…。他好大量，问了问他，这些地方他都到过，…” (29,559)

安老爷道：“…。问了问不空和尚，才知那个胖子姓徐，…” (32,615)

又听老爷吩咐公子道：“…。细问了问褚、陆两个，据他们说起，…” (40,896)

安老爷迎进来，见礼归坐，着实谢了谢他途中照应公子。(13,210)

安老爷道：“…。不空和尚指了我一指头，他又摆了摆手儿，吐了吐舌头，…” (32,616)

张姑娘道：“…。我到了咱们家这一年多，听了听京里的位置，…” (33,645)

安老爷这里便合大家说了说路上的光景，讲了讲邓九公那里的情由。(40,863)

…，再看了看左右无人，只得两个小丫头子，…。(40,865)

因看了看作官的尚且这等有冤没处诉，何况我们百姓？(11,175)

“问”では二重賓語の例が見られる。例えば、

又问了问褚一官走过几省，说了些那省的风土人情，论了些那省的山川形胜。(14,233)

看了看，老爷依旧是平日那个安祥样子，只不过问了问公子奏对的光景，…。(40,861)

安老爷此时见了他，…，便先问了问他这番调动的详细，公子一一回明。(40,896)

“看”と“瞧”の比率は36：4で“看”が優位を占める。

按了按公子的心窝儿 (5,85)

巴了巴头儿 (31,597)

摆了摆手 (29,562)

擦了擦手 (8,120)

擦了擦眼泪 (14,225)(24,439)

擦了擦嘴 (29,562)

擦了擦脸 (34,684)(35,708)

低了低头 (17,282)

点了点头 (4,54)(5,81)(22,395)(23,407)(34,674)(38,778)(39,826)(40,840)(40,897)(40,897)

点了点头儿 (7,112)(40,855)

定了定神 (35,701)(40,846)

拱了拱手 (38,99)(11,177)(28,27)(40,861)

呵了呵手 (27,505)

换了换衣裳 (31,592)

剪了剪腊花 <32,633)

剪了剪灯花 (35,699)

看了看礼单 (2,28)

看了看这个收礼的帐 (2,34)

看了看那木盆 (4,55)

看了看公子那下半截的绳子 (6,90)

看了看那门 (7,103)

看了看庙门 (8,130)

看了看船上 (13,202)

看了看这座店 (14,216)
看了看太阳 (14,224)
看了看那供菜 (21,359)
看了看家中风景依然 (23,406)
细看了看那口材 (23,409)
看了看钟 (24,437)
看了看今日这局面 (25,449)
看了看他胳膊上那点“守宫砂” (28,535)
看了看下款 (29,543)
看了看那样子 (31,601)
看了看那庙门 (32,629)
看了看那章程 (33,659)
看了看墙上挂的那个表 (34,684)
再看了看那盏灯 (35,699)
看了看那位喜贺大爷的年纪 (36,732)
看了看钟 (38,774)
看了看他后头 (38,791)
看了看那碑文 (38,795)
看了看那串儿上 (38,800)
理了理两鬓 (5,74)
掳了掳袖子 (31,600)
抹了抹碗边儿 (35,695)
抵了抵头油 (35,710)
摸了摸那钱 (13,212)
摸了摸头把儿 (22,399)
摸了摸那横闫 (31,594)
摸了摸那上闫的铁环子 (31,594)
摸了摸他的脑袋 (35,709)
摸了摸那茶碗 (37,747)
拿了拿桩 (6,96)
扭了扭头 (40,847)
把手拍了拍脑门子 (21,373)
欠了欠身 (34,680)(39,831)

细瞧了瞧手 (28,535)
瞧了瞧那些听戏的 (32,614)
瞧了瞧那袖子上沿的绦子 (38,775)
揉了揉眼睛 (7,104)(34,684)
在那凉水盆里汕了汕手 (35,711)
伸了伸舌头 (20,349)
虚伸了伸手 (40,894)
只略梳了梳头 (31,600)
漱了漱口 (40,872)
算了算数目 (39,811)
听了听姑娘口气 (22,390)
挽了挽袖子 (4,67)
望了望那三个脸上 (32,610)
望了望那两厢的财神殿、娘娘殿 (38,790)
问了问他的名姓 (2,29)
问了问一路风霜光景 (12,187)
问了问寄褚老一的那封信 (14,224)
问了问京中家里光景 (22,392)
问了问城里的房子 (23,407)
问了问昨日住店的光景 (23,408)
问了问我的岁数儿 (26,476)
又问了问父亲的起居 (35,695)
问了问他的家世学业 (38,782)
熏了熏张太太的那叶子烟气味 (30,566)
摇了摇头 (14,223)(34,678)
摇了摇头儿 (40,855)
匀了匀粉面 (35,710)
照了照杯 (37,767)
整了整衣襟 (18,316)
整了整衣冠 (21,374)
整了整衣服 (22,386)
皱了皱眉 (18,311)
坐了坐车 (22,381)

1.6 VOV

全 1 例。

—— 问

藤田 2002 でも指摘があるように、《兒》において「VOV」型はこの 1 例のみ。例えば、
这李四本是个浑虫，听了这话，先走到石头边说：“这得先问他问。”(4,66)

旅籠の使用人李四が入り口の石を部屋に運ぶよう言われ、見たところ相当重そうなので、「まずその重さがどのくらいなものか見当をつけてみなければ」と言う場面。“他”は“石头”を指し、現在では“它”と表記されるもの。清代の資料でこの「VOV」型が現れるのは、《醒世姻縁傳》のほかには《品花宝鑑》に 1 例見られるのみである。例えば、

蕙芳听了，…，心里想道：这奴才也不想想自己身分，这等可恶！待我赚他赚。《品花 13,189》

1.7 V—V

全 33 例、動詞の種類は 26。

—— 按、办、避、彩、畅、点、定、躲、稿、合、换、悔、见、静、看、理、评、请、去、伸、缩、挖、
闲、省、询、压、迎、装

一部の用例を除き、そのほとんどが会話文中で用いられている。“瞧”は用いられていない。例えば、
他就把刀尖虚按一按，托地一跳，跳上房去，…。(6,97)

邓九公…说道：“…。我要把他太太的事重新风风光光的给他办一办，…”。(20,348)

玉凤姑娘道：“…，如今暂且请在这后厦的里间避一避，也不算屈尊。”(21,371)

海马周三一回头，便向一个小头目说道：“…，我们听个准信，大家去彩一彩。”(21,368)

程师爷道：“正是，不要过于那个，畅一畅罢。”(3,43)

安老爷道：“…。就请看一看，定个葬期，愈早愈好。”(23,411)

邓九公听了这话，怔了一怔，说：“…，比此都该见一见，才不算世上一桩缺陷事。…”。(16,260)

…，邓九公那边儿早开了谈了，说：“…。该咱老爷儿们稿一稿咧！…”。(31,604)

褚大娘子道：“…；二来，我们也该专个人去请一请；…”。(16,266)

只见他站在当地向那群婆儿丫头说道：“…。瞧瞧，褚大姑奶奶合二位太太的茶也不知道换一换，烟也不装一装。…”。(25,463)

“把”字句の謂語となる例も見える。例えば、

张金凤道：“…，此时必得把俩八字儿合一合，——实告诉姐姐，…”。(26,476)

安老爷道：“…，正好把书理一理，再动手作文章不迟。…”。(33,641)

…，也休想他把那烟袋锅儿挖一挖。(37,755)

却说安老爷…说道：“…，必须及早把我家这些无用的冗人去一去，无益的繁费省一省，…”。

(33,643)

「V—V」型には例外的に“上”を伴う例が見られ、《兒》には2例ある。例えば、

便冷笑了一声，道：“…，你听了，也不过把舌头伸上一伸，颈儿缩上一缩，又知道他何用！”

(17,297)

点一点 (24,443)

定一定 (20,345)

躲一躲 (2,34)(31,597)

换一换 (5,83)(15,247)(25,463)

悔一悔 (8,123)

静一静 (36,732)(34,677)

评一评 (33,651)

闲一闲 (35,694)(35,708)

询一询 (17,286)

压一压 (39,821)

迎一迎 (22,382)

1.8 V—V儿

全8例、動詞の種類は6。

——等、候、静、升、躺、歇

用例はすべて会話文。「VV儿」型との比較においては用例数が少ないが、動詞のバリエーションは大差ない。例えば、

华忠说：“得请老爷略等一等儿。” (38,796)

一进屋门，先摆手道：“…。他说那怕他就再树荫儿底下候一候儿都使得，一定求见。” (17,285)

转了一会，想了想：“…，等我静一静儿罢。” (4,59)

何小姐道：“…，我可得静一静儿了。…” (33,639)

老爷看这光景，便叫华忠说：“…，让我在这里静一静儿罢。” (38,790)

他便恭恭敬敬深深的向那神主福了两福，告祝：“…，请你二位老人家向前升一升儿，…”。

(26,487)

太太…说：“…。你给我梳了头，回到下屋里静静儿的躺一躺儿去罢，…” (35,709)

老爷也强为欢笑：“…，且让我歇一歇儿，慢慢的再计议罢。” (1,20)

1.9 V了一V

全 82 例、動詞の種類は 33。

——拜、抱、沉、辞、凑、定、福、拱、跪、幌、就、举、看、愣、抵、拢、挪、请、数、松、算、推、望、偎、想、笑、谢、掖、沾、遮、怔、转、走

「V了V」型では会話文での用例も若干見られたが、このタイプではすべて地の文における用例。理由は状況説明に適した表現のタイプゆえと考えられる。このタイプでも“瞧”は用いられていない。例えば、

他谢了一谢，这才想起见师母来。(40,847)

张老起初也世故着辞了一辞，怎奈安老爷再三恳求，…。(33,655)

…，恰恰的公子同褚一官出去走一走的这个当儿，…。(23,402)

拜了一拜 (15,245)(32,627)

抱了一抱 (39,814)

沉了一沉 (13,206)(17,287)

身子向前凑了一凑 (26,470)

定了一定 (12,193)

福了一福 (8,123)(18,316)(18,317)(19,325)(24,440)(28,519)

执手当胸拱了一拱 (14,220)

跪了一跪 (33,647)

虚幌了一幌 (6,96)

往下就了一就 (35,710)

虚举了一举 (5,83)

看了一眼 (9,136)(9,140)(15,242)(20,345)(24,425)(27,506)(29,544)

愣了一愣 (26,478)(38,790)

抵了一抵 (37,761)

拢了一拢 (4,67)

挪了一挪 (22,396)

略略的数了一数 (10,157)

算了一算 (23,414) (34,671)

推了一推 (4,67)

望了一望 (14,223)(29,560)(35,701)

想了一想 (2,25)(3,46)(3,50)(8,123)(9,137)(9,141)(14,232)(17,282)(20,349)(24,426)

(29,550) (30,574) (32,624) (32,632)

笑了一笑 (1,14)(2,35)(5,70)(13,200)(18,310)(19,323)(31,603)

谢了一谢 (2,29)(5,71)
沾了一沾 (38,800)
遮了一遮 (38,797)
怔了一怔 (2,23)(15,240)(16,260)
转了一转 (1,19)(28,525)

“把”字句における例。例えば、
说着，他便把那两座神主都往龛外请了一请。(26,487)
把座儿向前挪了一挪 (26,470)
把坐儿挪了一挪 (30,575)
把身子挪了一挪 (30,580)
把前五魁魁卷挪了一挪 (35,703)
把钱数了一数 (4,61)
把眼皮儿挑了一挑 (9,138)
把帽子往上推了一推 (25,456)
把脑袋往被窝里偎了一偎 (22,390)
把身子往后偎了一偎 (39,830)
把棍略松了一松 (6,98)
把大衿向后又掖了一掖 (5,85)

1.10 V—VO

全8例、動詞の種類は8。

— 查、偿、开、敛、明、省、压、养

賓語に「人」に関わる名詞、人称代名詞、呼称は現れていない。例えば、
倒是乌大人先开口说道：“…，便可照这节略略查一查回奏，就算当过这差去了。(13,202)
太太无事，也好带上个眼镜儿，叼袋烟儿，看个牌儿，充个老太太儿，偿一偿这许多年的操持辛苦。
(33,650)
…，凭你是谁，凭你是怎样合他说着，再也休想他开一开口。(25,460)
他此时待有千言万语要发作起来，明一明自己的心，…。(26,481)
说着，便回头吩咐公子道：“…，把摹本流览一番，敛一敛神；晚上再静坐一刻，养一养气。…”
(34,669)
何小姐又接着陪笑道：“…，正该趁这年纪学着作起来，也好省一省母亲的精神心力。…” (33,640)
想着如此把他一调，既压一压外边的口舌，他果然经历伏汛，…。(2,34)

後述するように、用例数からみれば《兒》において「VO—V」型が優位を占め、賓語の性質からは相補分布の状況が窺えるが、賓語の位置は、現代漢語において「V—VO」型に統合されており、両タイプが並行し、交替する最後の局面をここに見ることができる。

1.11 V—V兒O

全1例。

——点

《醒世姻縁傳》に1例「V—V兒O」型が見られたが、他の資料からは用例が得られていない。形式から見れば動詞重畳型に当たるが、“点”の性質を考えると「—V兒」は量詞と見なすことができる。例えば、

梳着大松的埋头，清水脸儿，嘴上点一点儿棉花胭脂；…。(38,792)

1.12 V了一VO

全4例、動詞の種類は3。

——点、看、伸

“点”の場合、“了”を伴うと「—V」は量詞としてのイメージが強く感じられる。例えば、

…，朝他点了一点手儿。(4,64)

…，便说道：“…。请我母亲在我这右臂上点了一点‘守宫砂’，…”(25,451)

说着，从腰里扯下条条儿手巾来，擦了擦眼睛，又细看了一看姑娘。(24,439)

…，远远儿的哈着腰儿虚伸了一伸手，说：…。(35,695)

1.13 VO—V

全15例、動詞の種類は12。

——拜、保、动、会、见、看、拿、盘、赏、试、谢、熏

賓語はすべて人称代名詞の単数。“他”が12例、“你”は1例のみで“我”の例は見えない。会話文での使用が多数を占めており、用例数も確かに少なくないが、生産性を失って、実際の言語状況を忠実に反映しているかうたがわしい。この形式は、現代語漢語の口語表現からは消失しており、《駱駝祥子》をはじめとする現代の作品に用例は表れない。例えば、

安老爷吩咐道：“…。明日这课我待要试你一试，一交寅初你就起来，…”(34,663)

姑娘心下想道：“…。这马倒象是个骏物，待我试他一试。”(22,386)

老爷…，开口便道：“…，问明了那十三妹的门户，好去谢他一谢。”(14,229)

安老爷道：“…，你合他既有这等的气谊，怎的得引我会他一会也好？”(16,260)

邓九公道：“…，却怎的倒不想见他一见？”(21,374)

公子心下说：“…，到去倒得赏他一赏。”(5,79)

秃子说：“…。这倒得盘他一盘。”(6,94)

拜他一拜 (12,195)(40,870)

保他一保 (2,34)

动也不敢动他一动 (28,516)

看他一看 (15,235)

拿他一拿 (2,28)(2,34)

熏他一熏 (30,581)

賓語を間にはさみこむ「VOV」型、「VO—V」型はいずれも現代漢語では用いられなくなっているが、消滅の速度には緩急の差がうかがえる。《兒》において「VO—V」型がまだ15例見えるのは興味深い。《醒世姻縁傳》ではまだ並行して用いられているが、《脂硯齋重評石頭記》(前八十回)と《紅樓夢》(後四十回)を比較してみると、すでにその傾向を見て取ることができる。

	VOV	VO—V
《醒世姻縁傳》	31	30
《脂硯齋重評石頭記》(前八十回)	0	11
《紅樓夢》(後四十回)	0	4

1.14 VV看

全2例、動詞の種類は1。

——试

例えば、

那女子说：“你不要管，且试试看。”(6,91)

…，公子道：“你把这个也留在外头，等闲了我弄几枝没头儿的箭试试看。”(31,590)

1.15 VVO看

全1例、動詞の種類は1。

——搂

このタイプは《西遊記》、《金瓶梅詞話》に1例ずつ見られるのみで、極めて特殊な表現形式である。

例えば、

那张老说得一团高兴，…，又道：“…，亲家太太，你搂搂算盘看，一匹布管比买的便宜多少！…”。

(33,661)

2 二音節動詞

《兒》における動詞重疊型の特長の一つに、二音節動詞重疊型が多様に用いられている点を挙げることができる。小稿のこれまでの調査において、用例数の最も多い資料が《兒》である。しかし一方で「V—V」型が見られないという特徴も指摘され、現代漢語との一致点を示していると考えられることができる。

2.1 V V

全 82 例、動詞の種類は 54。

—— 巴结、白瞪、摆搭、拜见、驳正、踹落、伺候、打听、喂哺、踱拉、方便、恭维、供献、咕噜、归着、毁打、活动、见识、讲说、较量、犒劳、扣谢、历练、领教、摹拟、扭搭、盘桓、破说、亲热、亲香、请教、热闹、撒和、散诞、商量、收拾、疏散、刷洗、算计、腾挪、痛快、喜欢、相看、相验、消停、歇息、兴头、扎裹、张罗、招护、照料、照应、斟酌、总成

用例の多くが会話文中に用いられ、作者はこのタイプを積極的に使用していることがうかがえる。

例えば、

他道：“…，叫他出去到官场中巴结巴结；…”。(40,843)

这日父亲不在家，便要穿戴起来摆搭摆搭。(30,567)

邓九公道：“…，你合他讲说讲说。…”。(40,838)

公子哈哈大笑道：“我倒请教请教，这番道理安在？”(30,574)

邓九公听了，…，道：“老弟，你试把他的姓名说来，我领教领教。”(15,247)

…，姑娘庙里去添斗，借着出善会，热闹热闹，撒和撒和认作妇德，…。(27,493)

因说道：“张亲家的意思是，因为玉格中了，要给他热闹热闹。”(36,735)

张姑娘接口道：“…，请二位老人家喜欢喜欢再讲。”(33,639)

邓九公听了，哈哈大笑，说：“…，我都要去见识见识，一直逛到香山，…”。(29,559)

褚大娘子道：“…。我也合你亲热亲热。…”。(17,280)

太太一听老爷这话，急了，忙说：“…。倒底也让我给他刷洗刷洗，扎裹扎裹；…”。(40,876)

“把”字句の例。例えば、

…；回来再把自己的诗文摹拟摹拟，却也不作孙山外想；…。(35,696)

否定詞“没”を伴う例。例えば、

他可也没算计算计，此地到二十八棵红柳树有多远？(4,62)

白瞪白瞪 (25,463)
拜见拜见 (15,237)
驳正驳正 (33,643)
两条腿踹落踹落的跑得满头大汗 (36,728)
伺候伺候 (33,639)
打听打听 (3,40)(5,81)(39,836)(40,872)
噤破噤破 (25,463)
踱拉踱拉 (21,358)
方便方便 (9,140)
恭维恭维 (13,206)
供献供献 (21,362)
咕噜咕噜 (35,692)
归着归着 (9,145)(17,281)
毁打毁打 (34,674)
活动活动 (15,248)(36,720)(40,852)
较量较量 (6,95)(15,236)
犒劳犒劳 (38,800)
扣谢扣谢 (10,156)
历练历练 (2,26)
扭搭扭搭 (4,61)
盘桓盘桓 (27,501)
破说破说 (38,793)
亲香亲香 (20,342)
散涎散涎 (3,43)
商量商量 (2,25)(23,420)(24,427)(29,558)(40,842)(40,844)(40,854)
收拾收拾 (10,158)(29,559)(31,588)(36,740)(40,847)
疏散疏散 (38,784)
腾挪腾挪 (21,374)
痛快痛快 (16,265)(17,296)(19,320)
相看相看 (9,146)
相验相验 (11,167)
消停消停 (12,190)(13,210)(39,836)
歇息歇息 (34,677)(35,696)

兴头兴头 (36,735)
张罗张罗 (15,244)(27,501)
招护招护 (29,562)(31, 588)
照料照料 (33,651)
照应照应 (3,43)(30,567)
斟酌斟酌 (13,208)(40,863)(40,865)
总成总成 (38,799)

2.2 V了V

全 11 例、動詞の種類は 10。

- 拜望、端详、端正、归着、默诵、撒和、歇息、行动、修整、招呼
すべて地の文における用法。会話文中に用例は現れない。例えば、
略歇息了歇息，便有那些人家回说：…。(1,21)
…，拜过宗祠，到至亲本家几处拜望了拜望，仍旧回家。(1,13)
那女子走到跟前，把那块石头端详了端详，见有二尺多高，…。(4,67)
…，又把式样端正了端正，一面亲自给他带在手上，…。(34,674)
那乌大人就把案归着了归着，据情转奏。(13,209)
他当日归着了归着，次日起了个大早，…。(40,860)
…，好容易得了两句，默诵了默诵，觉得又象时文，又象试帖，…。(37,767)
公子吃得一饱，撒和了撒和，便倒头大睡，养精蓄锐，准备进二三场。(34,686)
…，血随着气一流通，行动了行动，肚子疼倒好了些。(40,859)
…，修整了修整，妆饰起来。(28,531)
…，也招呼了招呼，说：…。(39,816)

2.3 VVO

全 33 例、動詞の種類は 27。

- 拜见、操练、打扫、服侍、归着、见识、考订、请教、请示、热闹、施展、算计、探听、托付、
卫顾、孝顺、央及、应酬、瞻仰、张罗、招呼、照料、照应、整理、知道、支使、嘱咐
「VV」型の場合と同じく、会話文における用例が多数を占める。賓語は「人」、「事」、「物」、「身体部位」
など、性質に制限は見られない。例えば、
老爷说：“…。我要见识见识你们这翰林班是怎的个通法。”(37,767)
安公子…，还道：“…。你回去务必替我请教请教尊翁，…”(36,718)
说着，忽然又回头合公子道：“你再请示请示公公，既说明日谢恩，…”(40,888)

只听得后面一个人嚷道：“…，让大火儿热闹热闹眼睛，别招含冤！”(38,789)
安太太只得含糊道：“…，难道也不给人家打扫打扫地面么？”(37,757)
还有一班好事些的，虽然与他无干，也要知道知道这科的鼎甲是谁。(36,727)
这里剩了老爷一个人儿，…，忽然想起：“…。也考订考订这座庙究竟自何朝何代。”(38,791)
…；随缘儿媳妇也该拜见拜见续姑婆；…。(17,278)
褚大娘子道：“…。张罗张罗人哪，归着归着屋子啊，那不得人呢？…。”(17,280)
张老爷…，便站起来道：“…，我过那边儿帮他们归着归着东西去，早些弄完了，…。”(24,437)

操练操练身子 (40,894)

服侍服侍姑奶奶 (32,627)

劳你施展施展你那件兵器 (31,600)

算计算计这两天工夫可走得及走不及 (20,349)

算计算计那时候的时势 (21,365)

探听探听消息 (13,206)

托付托付我们老玉 (40,843)

卫顾卫顾我 (31,607)

孝顺孝顺大爷 (19,334)

央及央及他 (7,112)

应酬应酬泰山 (31,588)

瞻仰瞻仰你这两尊佛 (24,442)

想瞻仰瞻仰这位老爷是怎的个老神仙样子 (37,749)

张罗张罗我的洗洗汕汕这些零星事情 (2,26)

张罗张罗他 (12,179)

张罗张罗人 (17,280)

张罗张罗他老人家的饭 (39,822)

招呼招呼褚大姑奶奶 (31,588)

照料照料外面的事 (28,530)

照应照应那孩子 (20,352)

整理整理衣裳 (6,92)

支使支使他 (40,855)

嘱咐嘱咐褚大姐姐 (28,530)

2.4 V了VO

全 1 例。

——周旋

小稿のこれまでの調査では、「V了VO」型は《兒》にのみ見え、しかも 1 例である。例えば、
安老太太便把其余的东西该归着的归着，该分散的分散，公子也去周旋了周旋那个陆秀才。(38,781)

2.5 VO—V

全 1 例。

——奈何

清初の資料《照世杯》に 1 例同様の例が見られるが⁽³⁾、清代以降においては、やはり極めて特異な用例であるといえることができる。この点は藤田 2002 でも明確な指摘が行われており、衆目の一致するところである⁽⁴⁾。例えば、

再说何玉凤…，暗道：“…。少停你不奈何我便罢，你少要奈何我一奈何，我也顾不得那叫情，那叫义，我要不起根发脚把你我从能仁寺见面起的情由，都给你当着人抖搂出来，问你个白瞪白瞪的，我就白闯出个十三妹来了！”(25,463)

3 おわりに

《兒女英雄傳》は清末における重要な北方口語の資料であり、現代漢語との連続性をうかがうことはできるが、しかし 20 世紀五四以降の口語との間には、やはり幾つかの相違点を指摘することができる。1926 年 1 月に刊行された《宇宙風》で掲載が開始された《駱駝祥子》と顕著に異なる項目について対比してみることにする。

	VV 儿	VOV	V 了 VO	V—V 儿	V 了一 VO	VO—V
《兒》:	36	1	1	8	4	15
《駱》:	0	0	0	0	0	0

用例数の多寡ではなく、現代漢語にはすでに用いられなくなっているタイプが多く存在していることが明らかである。現代漢語で新たに生み出されたタイプは見られず、動詞重疊型はある一定範囲内に収束する方向をたどっていると見てよいであろう。このような見方は二音節動詞の場合にも合致する。

二音節動詞においては「V了V」型において相違点が見られる。

V了V

《兒》: 11

《駱》: 0

一方で《兒女英雄傳》に「V—V」型は現れておらず、現代漢語との一致点を見出すことができる。二音節動詞「V—V」型は《醒世姻縁傳》で16例が用いられるが、それ以降《儒林外史》に2例、《脂硯齋重評石頭記》(前八十回)に1例、《品花寶鑑》に1例が見られるだけで、清代を通じて生産性があることがうかがうことはできない。明代の資料においても用例の少ないことは、小稿がこれまで指摘してきたとおりである。「V—V」型の生産性について根本的な見直しを行う必要があるものと考えられる。

注

- (1) 次のような“VV”形は本来“VV”として用いられる「重言形」であるため、小稿では重疊型に含めていない。

吵吵 (3,42) (40,851)

嘈嘈 (15,240)(38,792)(39,821)(40,887)

哼哼 (31,598)

- (2) 小稿の調査によれば、《駱駝祥子》における「VV」型は55例、「VVO」型は70例。
(3) 大島 2004、pp.217 参照。
(4) 藤田 2002、pp.277 参照。しかし陳 2000 には指摘されておらず、用例のとり方に相違が見られる。

参考文献

- 陳 昌來 2000. 「《兒女英雄傳》動詞重疊的考察」《漢語學報》第2期。pp.55-64。
藤田益子 2002. 「《兒女英雄傳》中的動詞重疊形式」《紀念王力先生百年誕辰學術論文集》商務印書館。pp.276-287。
賈 采珠 1990. 《北京話兒化詞典》，語文出版社。
大島吉郎 1999. 「動詞重疊型に関する通時的研究（一）——《水滸傳》を中心に」『大東文化大學紀要』第37号。pp.215-233。
—— 2000. 「動詞重疊型に関する通時的研究（二）——《元曲選》を中心に」『大東文化大學紀要』第38号。pp.59-72。
—— 2001. 「動詞重疊型に関する通時的研究（三）——《西遊記》を中心に」『大東文化大學紀要』第39号。pp.1-16。
—— 2002. 「動詞重疊型に関する通時的研究（四）——《金瓶梅詞話》を中心に」『大東文化大學紀要』

第 40 号。pp.363-382。

—— 2003. 「動詞重疊型に関する通時的研究(五)——《醒世姻縁傳》を中心に」『大東文化大学紀要』第 41 号。pp.201-223。

—— 2004. 「動詞重疊型に関する通時的研究(六)——《儒林外史》を中心に」『大東文化大学紀要』第 42 号。pp.201-219。

—— 2005a. 「動詞重疊型に関する通時的研究(七)——《脂硯齋重評石頭記》を中心に」『大東文化大学紀要』第 43 号。pp.227-247。

—— 2005b. 「二音節動詞重疊型の通時的変化について」『香坂順一先生追悼記念論文集』。光生館。pp.178-189。

—— 2006. 「動詞重疊型に関する通時的研究(八)——「三言」を中心に」『大東文化大学紀要』第 44 号。pp.159-181。

引用書目

《儿女英雄传》(上・下), 松颐校注, 1983 年人民文学出版社。

《品花宝鉴》(上・下), 尚达翔校点, 1990 年上海古籍出版社。